



# 小港松原墓

指定名称 こみなとまつばらばか  
小港松原墓  
(町指定有形文化財建造物)

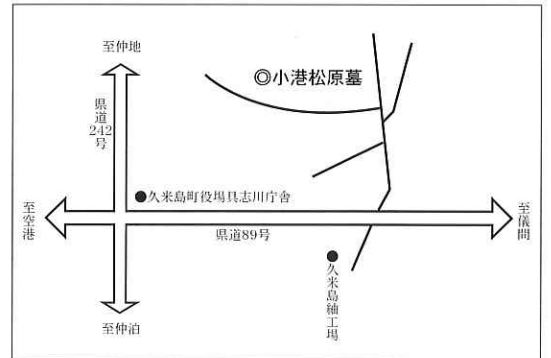
所在地 久米島町字西銘新田原488

指定年月日 昭和55年5月21日  
(旧具志川村指定)

所有者 仲村 肇

字西銘の東南方、小高い森の中に所在する字西銘仲村家（屋号山根<sup>やまんにー</sup>）の小港松原墓は、同家5世昌敷が建造した墓である。墓碑によれば尚敬王代の康熙55年（1716）の冬、中国への進貢使節の一人であった蔡温（末吉親雲上）にこの墓地の風水<sup>ぶんし</sup>を見て選定してもらい、翌年11月19日に起工し、その次の年の1月に完成したと記録されている。

墓型は亀甲墓であるが、マユの下に垂木<sup>たるき</sup>がついていることや、内部が立派



なマチ（アーチ）であることなど久米島の中でも進んだ技術で建造されているばかりでなく、墓碑による記録があることから、歴史的価値も高い墓である。